



## 第8号誌

2020年 [制作・発行]

- 行田市在宅医療・介護連携推進協議会
- 行田市高齢者福祉課地域包括ケア担当

TEL.048-556-1111  
(内線 338・278)

**ご自由にお取り下さい**

行田人(ぎょうだびと)は、行田市の「医療と介護の連携」を推進・紹介し、市民のみなさんの生活をサポートする広報誌です。

## 在宅医療・介護連携推進事業

医療と介護が連携して、地域住民の療養や生活を支援する取り組みを行っています。

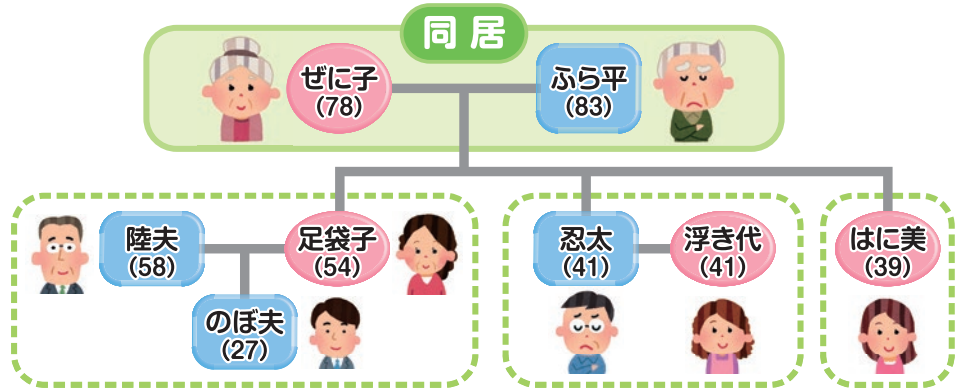
## 30年後(2050年)のふら平とぜに子

ぜに子  
(78)

体の問題はない。軽い物忘れあり。大きな病気はなく、ふら平の身の回りの世話をしている。60才から始めたお花の教室を自宅で開催している。

脳梗塞の後遺症、肺気腫。78才の時に軽い脳梗塞を患い、進行性の肺がんもある。肺の病気のため、動くとき息が切れ、寝たり起きたり。「わしゃ家で死にたい」と言っている。

ふら平  
(83)



第6弾!

## ふら平さん サポート大作戦!

行田市在住のふら平さん一家の30年後。だいぶ体が不自由になってきているふら平さんを支えるために、医療・介護の専門職がどのように関わっていくのかをご紹介します。

## 様々なサービス等を利用して、ふら平さん一家を支えています。

### 家に来てもらってサービスを受ける

- 在宅往診医
- 訪問歯科診療
- 訪問看護
- 訪問薬剤指導
- 訪問リハビリ
- 訪問入浴
- ホームヘルパー(訪問介護)

### 通いでリハビリやサービスを受ける

- デイケア(通所リハビリ)
- デイサービス(通所介護)

### 泊まりでの介護や入院など

- ショートステイ  
[短期入所生活介護]  
[短期入所療養介護]
- 病院

### 様々な相談をする

- ケアマネジャー
- 地域包括支援センター
- 在宅医療・介護連携支援センター

今回は“病院”と“行田市在宅医療・介護連携支援センター”に注目してみましょう。

# 住み慣れた自宅での生活を希望するふら平さんを支えるために…

30年後のふら平さん(83歳)

脳梗塞の後遺症、肺気腫。

78歳の時に軽い脳梗塞を患い、進行性の肺がんもある。  
動くと息が切れ、寝たり起きたりの生活。



わたしも身の回りの世話がたいへんになってきたし…  
家でゆっくりお風呂に入って、清潔な体でいてもらいたいけど、どうしたらいいのかしら…?

## 退院後の在宅や施設での療養をサポートします!

### 病院

#### 退院後も安心して生活するために…

突然の病気や怪我で入院した方は、慣れない入院生活や手術、治療などの結果、身体の機能が低下したり、日常生活に不便を強いられている状況になることがあります。

患者さんが退院後の生活がスムーズに過ごせるよう、医師や看護師、社会福祉士などが連携し、退院支援を行っています。



入院

退院後の方向性の検討・決定

在宅へ退院

ケアマネジャーや在宅サービス事業所などと退院支援カンファレンスを開催し、在宅サービスの調整を行います。

施設や病院への退院

介護度や病状に合った施設や病院を案内し、転院や入所の調整をします。

入院中の患者さんのケアと、退院してからの在宅あるいは施設などのケアをうまくつなぐことにより、退院後も安心して過ごせるよう入院時から取り組んでいます。

### 行田市在宅医療・介護連携支援センター

市民の皆様安心して在宅生活・介護をお受けいただけるよう、ご本人やご家族からの在宅医療・療養に関する相談窓口です。



#### 在宅医療とは

様々な事情により、通院が困難となった患者様の自宅へ医師、看護師が伺い診療を行います。

患者様が住み慣れた地域で安心して医療が受けられるよう多職種が綿密に協力、連携し在宅医療を支えています。



#### こんなことができます

医師により専門診療科は異なりますが、診察や投薬、処置、点滴、酸素療法、疼痛管理等を行います。

費用は保険診療のため、健康保険による一部負担金分が請求されます。

急変時の対応も状況とご希望により異なりますが、急変時にはかかりつけ医、訪問看護に連絡して下さい。スムーズな連携により往診、受診、入院等が可能です。



ご相談、お問い合わせ等については、  
主治医 または 在宅医療・介護連携支援センター までご相談ください。

次回

“ケアマネジャー”と“地域包括支援センター”  
についてご紹介します。

# 人生ドラマ『わたしの人生ファイル～笑顔でいくために』 完成披露試写会 兼 研修会を開催しました

『自宅で最期の時を迎えたい』…51% (2019年 医師会主催 健康フォーラムより)

《住み慣れた自宅で最期を》というニーズに応え、在宅医療介護を身近に感じて頂くために、協議会や行政有志により制作された人生ドラマ『わたしの人生ファイル～笑顔でいくために』の完成披露試写会を兼ねた研修会を開催しました。

昨年5月から9カ月かけて、市内で撮影された3部構成95分の大作です。ふら平さん一家のドラマを見る中で、楽しく理解を深めることができます。新しい研修様式《視聴型行田モデル》として、三密を防ぎ飛沫感染防止の無音研修会で【コロナを正しく恐れる】ことを学ばれたと思います。スマホによるアンケートでは、理解度・安心度100%!感動の賛辞を多数頂きました。

公民館等でも安全性を確保した研修は可能です。在宅医療介護の実際やご自身の納得できる終活のために、是非ご覧ください。市内医療介護事業所に100枚配布済みです。

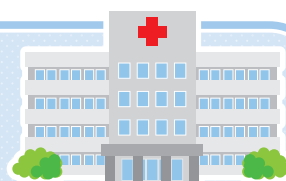


ご希望の方は、**行田市在宅医療・介護  
連携支援センター ☎048-553-2003**  
にお問い合わせください。

《縁起でもない話をお気軽に》どうぞ!

研修部会(ふらっと) 議長  
行田中央総合病院 リハビリテーション科  
理学療法士 阿久津 彰良

## 健康診査やがん検診は遅らせずに



新型コロナウイルスやインフルエンザなどの感染症の予防には、日ごろの体調管理が大切です。

がん検診や健康診査を受け、健康の維持管理を継続するとともに、高血圧や糖尿病などの持病の通院も主治医の指示通りにし、自己管理を継続しましょう。

お子さまの健康のためにも、予防接種と乳幼児健診は遅らせずに予定どおり受けましょう。



**保健センターや医療機関では、  
感染予防対策を徹底して実施しています。**

※自覚症状のある方は、健(検)診を待たずに診察を受けてください。



「行田人(ぎょうだびと)」は、市内医療機関、歯科医院、薬局、介護事業所、市役所窓口等で配布しております。ご希望の方は各機関の窓口にてお申し出ください。

